

坂東市4Hクラブがアフリカの農業普及員と交流しました

7月1日（水）に、坂東市4Hクラブが、独立行政法人 国際協力機構（JICA）のアフリカ地域の農業普及員の現地研修を受け入れました。この研修は「青年農業者育成と農業普及活動」を学ぶ目的で行われており、坂東市4Hクラブでは数年前からこの研修を受け入れています。今回は、アフリカ9か国、11名の研修員が参加し、クラブ員5名で対応しました。

まず、クラブ員の深根ネギ栽培ほ場及び作業場にて、栽培概要や栽培方法、出荷調製の工程等の説明が行われ、研修員は見慣れないネギや機械に興味津々な様子でした。研修員からは「定植時の苗の深さはどれくらいか」、「育苗中に葉を何度か切る目的はなにか」、「収穫の際、調整したネギの葉身の残渣はどうしているか」など技術的な質問が多くあがりました。

次に、普及センターに移動し、4Hクラブなど青年農業者の組織活動について内容を紹介したのち、意見交換を行いました。研修員からは「4Hクラブでは食育活動は行っているか」、「4Hクラブの年齢層はどのくらいか」などの質問があがりました。クラブ員からは、各国の食文化や農産物に関する質問が寄せられ、貴重な交流の機会となりました。

普及センターでは、今後も関係機関等と連携して、青年農業者の活動を支援していきます。



写真．現地研修の様子（7/1）

令和8年7月23日 坂東地域農業改良普及センター 金子（担い手）